

アムロジピン OD 錠 2.5mg 「TCK」 アムロジピン OD 錠 5mg 「TCK」

【この薬は？】

販売名	アムロジピン OD 錠 2.5mg 「TCK」 AMLODIPINE OD Tablets 2.5mg 「TCK」	アムロジピン OD 錠 5mg 「TCK」 AMLODIPINE OD Tablets 5mg 「TCK」
一般名	アムロジピンベシル酸塩 Amlodipine Besilate	
含有量 (1 錠中)	アムロジピンベシル酸塩 3.47mg (アムロジピンとして 2.5mg)	アムロジピンベシル酸塩 6.93mg (アムロジピンとして 5mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、カルシウム拮抗剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は末梢の血管を拡張して血圧を低下させます。また、心臓の血管（冠血管）に働いて、狭心症の発作を予防します。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

狭心症

- ・この薬は効果の発現が緩やかであるため、緊急な治療が必要な不安定狭心症には効果が期待できません。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要

です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にジヒドロピリジン系化合物（ニフェジピン、ベニジピン塩酸塩、アゼルニジピンなど）で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過度に血圧が低い人
- ・心不全のある人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・肝臓に障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

〔成人の場合〕

	高血圧症の場合	狭心症の場合
一回量	2.5mg～5mg＊	5mg
飲む回数	1日1回	1日1回

＊1回5mgを服用しても効果不十分な場合には、1回10mgまで増量されることがあります。

〔6歳以上の小児の場合〕

	高血圧症の場合
一回量	2.5mg＊
飲む回数	1日1回

＊6歳以上の小児の場合、1回5mgを超えて投与されません。

●どのように飲むか？

- ・口の中で溶かして飲む薬です。舌の上にのせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし水なしで飲むことができます。また、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。
- ・口の中で速やかに崩壊しますが、口の粘膜からの吸収により効果発現を期待する薬ではないため、崩壊後は唾液や水またはぬるま湯で飲み込んでください。
- ・錠剤を割った場合は早めに飲んでください。割った錠剤をやむを得ず保存する場合は、湿気と光を避けて保存してください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

ショックを含む著しい血圧低下（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失）になったり反射性頻脈（動悸（どうき）など）があらわれることがあります。また、非心原性肺水腫（息苦しい、息をするときゼーゼー鳴る、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、横になるより座っているときに呼吸が楽になる）がこの薬を多く使用した24～48時間後にあらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧が下がることにより、めまいなどがあらわれることがありますので、高所作業や自動車の運転などの際には注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がかゆくなる、急激に体重が増える、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食欲不振、突然の高熱、寒気、出血が止まりにくい、脱力感
頭部	急な意識の低下、めまい、気を失う、立ちくらみ
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	血を吐く、吐き気、喉の痛み、唾液、痰に血が混じる、歯ぐきからの出血
胸部	息切れ
腹部	お腹が張る
手・足	脈が遅くなる、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる
筋肉	筋肉の痛み
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

販売名	アムロジピン OD 錠 2.5mg「TCK」	アムロジピン OD 錠 5mg「TCK」
形状	素錠 	素錠 (割線入り) 
直径	7.0mm	8.0mm
厚さ	2.15mm	3.35mm
重さ	100mg	200mg
色	淡橙色	淡橙色
識別コード	TU 231	TU 232

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アムロジピン OD 錠 2.5mg「TCK」	アムロジピン OD 錠 5mg「TCK」
有効成分	日局 アムロジピンベシル酸塩	
添加物	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスポビドン、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、1-メントール、ステアリン酸マグネシウム、黄色5号	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：辰巳化学株式会社(<https://www.tatsumi-kagaku.com/>)

薬事学術・安全管理部：076-247-2132

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00（祝祭日を除く）

販売会社：株式会社フェルゼンファーマ (<https://www.feldsenfpharma.co.jp>)

安全管理部

電話：03-6368-5160

受付時間：9:00～17:00

（土、日、祝日、その他の当社休業日を除く）